

共に支え合う地域コミュニティづくり ～大津モデルの実現～

第3期 大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画



令和2年3月



はじめに

大津町は、平成 28 年熊本地震を経験し、住民の皆様は、避難行動や避難所での生活、家屋被害など、多くの苦難があったことと存じます。そのような状況の中、各地域では、安否確認や避難所運営など、地域一丸となった動きが多く見られました。行政の「公助」や住民個人の「自助」のみでは対応できないことがあり、改めて地域のつながりの中で助け合う「互助」の大切さを実感しました。そのためにも、地域住民がつながる体制を整えていく必要があります。

人口と高齢化については、町の人口ビジョンによりますと、今後も住宅地開発などにより、総人口は増加すると見込まれております。しかしながら、65 歳以上の高齢者割合は増加し、一方で現役世代は減少していく状況となっています。また、地域によっては、高齢化率が非常に高くなるなど、地域コミュニティの維持が難しい地域もでてきます。そのような状況の中、地域の皆様が協力し助け合う地域福祉の力がとても重要です。

国では、超少子高齢社会を背景に、高齢者、障がい児者、子どもなど、地域に住む全ての方が共に暮らしていける地域づくり、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを推進しています。他人ごとを「我が事」として捉え、地域全体を「丸ごと」受け止め、互いに支え合っていく仕組みをつくる必要があります。

町では、このような状況を踏まえ、福祉に関する総合的な計画となる「第 3 期大津町地域福祉計画」を策定しました。また、町社会福祉協議会が策定する「第 3 期大津町地域福祉活動計画」も一体的に策定し、地域福祉の施策と行動計画の両輪により、町の地域福祉を進めていきます。

本計画は、基本理念を「共に支え合う地域コミュニティづくり～大津モデルの実現～」といたしました。高齢者、障がい児者、子どもなど、みんなで参加する地域コミュニティ活動を更に推進し、地域のつながりを強化した町づくりを目指します。また、災害に備えた地域防災力向上のために、地域で見守り活動や避難活動ができるような体制づくりを目指します。そのために、地域住民、町、町社会福祉協議会、福祉関係団体などが力を出し合い、共に支え合いながら安心して楽しく暮らせる「大津モデル」の実現に向けて取り組んでまいります。

計画を推進するためには、住民の皆様や福祉関係団体の皆様と町及び町社会福祉協議会が協働する必要があり、これまで以上にご協力をお願いいたします。

最後に、計画の策定にあたり、多くのご意見やご審議をいただきました「大津町地域福祉計画策定委員会」の委員の皆様をはじめ、貴重なご意見をいただきました住民の皆様や関係各位に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和 2 年 3 月

大津町長
大津町社会福祉協議会会長

家 入 勳

第3期 大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画

もくじ

第1章 計画策定にあたって	1
1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画策定にあたって	2
(1) 地域福祉とは	2
(2) 計画の目的と位置づけ	3
(3) 「地域共生社会」の実現に向けて	4
3. 地域福祉計画・地域福祉活動計画の役割と他計画との関連	5
(1) 地域福祉計画と地域福祉活動計画について	5
(2) 他計画との関連	6
4. 計画期間	7
5. 計画の策定体制	8
(1) 大津町地域福祉計画策定委員会	8
(2) まちづくり懇談会	8
(3) 住民アンケート調査	9
(4) 福祉関連事業所への意見聴取	9
(5) 第2期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の関係各課による事業評価	9
(6) パブリックコメント	9
第2章 現状把握と課題および今後の方向性	10
1. 大津町の現状	10
(1) 人口と高齢化	10
(2) 熊本地震の影響	11
2. 第2期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の達成状況と課題	12
(1) 第2期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の達成状況	12
①地域での支え合い活動の推進	12
②支え合いを担う人材とネットワークづくり	13
③行政・専門機関の一層の連携	14
(2) 第2期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画の課題	15
3. まちづくり懇談会での検討結果	16
(1) 生活支援	17
(2) 安全	17
(3) 人材育成	18
(4) 環境	18
4. 住民アンケート調査結果	19
(1) アンケート調査の概要	19
(2) アンケート調査結果（福祉項目の設問を一部抜粋）	19
5. 福祉関連事業所への意見聴取結果	23

6. 第2期計画期間（平成27年～令和元年度）の全体まとめ	24
7. 第3期大津町地域福祉計画・地域福祉活動計画に向けた方向性	26
(1) 地域コミュニティ活動の推進による支え合い	26
(2) 困りごとを抱える人たちへの支援	28
(3) 地域での見守り活動の推進	31
第3章 計画の基本方針	32
1. 基本理念	32
2. 基本目標（計画の柱）	32
基本目標1 安心して暮らせる福祉のまちづくり	32
基本目標2 地域福祉を支える担い手づくり	34
基本目標3 互いに支え合う絆づくり	36
3. 大津町、社会福祉協議会、住民、事業所などの役割	38
第4章 計画の柱からの展開と施策の目標	40
1. 計画の柱からの展開	40
2. 施策毎の展開	42
基本目標1. 安心して暮らせる福祉のまちづくり	42
基本目標2. 地域福祉を支える担い手づくり	62
基本目標3. 互いに支え合う絆づくり	66
第5章 計画の進め方	72
1. 進行管理	72
2. 計画推進のPDCAサイクル	72
資料編	73
1. 近年の大津町の状況	73
(1) 人口の状況	73
(2) 世帯の状況	79
(3) 支援を必要とする人たちの状況	82
資料：行政区状況	84

※「障がい」の表記について

熊本県では「障がい」の表記について、平成20年1月から法令、条例、規則や固有名称等を除き、「障がい」と一部ひらがな表記を行っています。本計画においても、法令等で用いられる場合を除き、「障がい」と表記します。